様式第二十二号を次のように改める。

様式第二十二号（第二十九条関係）

被保護者名簿

（宿泊型保護事業用）

種別	氏名 生年月日	委託		任意		備考
		保護開始 年月日	保護終了 年月日	保護開始 年月日	保護終了 年月日	
（　）	年　月　日生					

（通所・訪問型保護事業用（甲））

種別	氏名 生年月日	保護開始 年月日	保護の内容	備考
（　）	年　月　日生			

（通所・訪問型保護事業用（乙））

種別	氏名 生年月日	保護開始 年月日	保護の内容	備考
（　）	年　月　日生		１　金品給与　帰住旅費（　） 食事費　（　） その他　（　） ２（　）	

（備考）

１　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

２　「種別」の欄には、次のとおり種別の番号を記載すること。

(1)保護観察処分少年　(2)少年院仮退院者　(3)仮釈放者　(4)保護観察付執行猶予者

(5)刑執行停止中の者

(ｲ)刑執行終了　(ﾛ)刑執行免除　(ﾊ)保護観察付執行猶予確定前　(ﾆ)単純執行猶予

(ﾎ)起訴猶予・処分保留　(ﾍ)罰金・科料　(ﾄ)労役場

(ﾁ)退院・仮退院期間満了　(ﾘ)実刑部分執行終了（※）

(ﾇ)保護観察終了　(ﾙ)法定期間満了

（※）「(ﾘ)実刑部分執行終了」は、拘禁刑につき刑の一部の執行猶予の言渡しを受け、その猶予の期間中保護観察に付されなかった場合であって、その刑のうち執行が猶予されなかった部分の執行を終わったとき（その執行終了時に他に執行すべき拘禁刑があり、その刑の執行を終わったときを含む。）をいう。

３　通所・訪問型保護事業用（乙）の記入に当たっては、次の事項に留意すること。

(1)　「保護の内容」の欄には、金品給与の場合には区分に応じて括弧内に給与した額を記入し、金品給与以外の場合には「２」にその内容を記載する。

(2)　「備考」の欄には保護の実施上特記すべき事項を記載するとともに、貸与した金品の返還があったときは、その日付、金額又は数量を記載する。